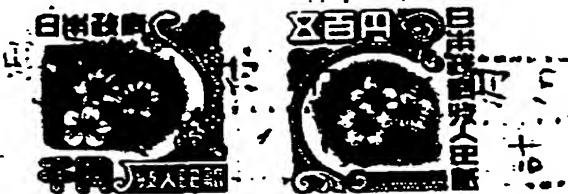


Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. SHO-51-144446

Laid-open: November 20, 1976  
Filed: May 14, 1975 under No. SHO50-65062  
Inventor: Katsunori Hirao  
Assignee: Yamamoto Shoji Vco., Ltd.  
Title: HANDLE FOR BUSH CUTTING MACHINE

ABSTRACT

A handle (2) for a bush cutting machine includes a hollow grip (6), a core rod (5) threadedly fitted into an end of the handle centrally thereof, and a vibration proofing member (9) provided to extend around the core rod, the core rod and vibration proofing member being housed in the hollow grip such that the grip is movable toward the core rod against the force of the vibration proofing member. The vibration proofing member may be a spring or a sponge.



請

(1500)

## 実用新案登録願

昭和50年5月14日

特許庁長官 殿

## 1. 考案の名称

刈払機におけるハンドルの防振装置

## 2. 考案者

住所 松山市小栗ノ丁目11番3号

氏名 平尾勝紀

## 3. 実用新案登録出願人

住所 松山市西石井町384番地

名称 山本商事株式会社

代表者 山本秋太郎

郵便番号 790 電話 0899-56-2653

## 4.添付書類の目録

(1) 明細書	1通	方式審査
(2) 図面	1通	
(3) 説明書	1通	
(4) 領書副本	1通	
(5) 出願書査請求書	1通	

特許庁  
50.5.17

出願・二課  
中村課

50-0650-2

## 明細書

### 1. 考案の名称

刈払機におけるハンドルの防振装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

ハンドルの端部中心に螺入できるようにした芯  
杆部<sup>②</sup>にスプリング或はスポンジなどの防振体<sup>③</sup>を介  
織し、これを中空のグリップ<sup>④</sup>内に嵌装してグリッ  
プが防振体に抗して芯杆方向に移動可能となした  
ことを特徴とする刈払機におけるハンドルの防振  
装置。

### 3. 考案の詳細を説明

本案は、灌木や雑草を刈払う刈払機において、  
作業者の手に機体からの振動を防止することを目的  
とするもので、従来刈払機は刈払性能が重視さ  
れて作業者の手にくる振動は軽視されていたが、  
最近防振の要望が多くなり、また厚生省において  
も作業者の安全対策として防振を重視するに至り  
防振装置の開発が急務となつてゐる。

そこでこの考案は、機体の振動が最終的に作業  
者に伝わるハンドルのグリップ部において防振す

るものである。これを実施例について具体的に説明する。

先ずその構成において、(1)はハンドル(2)の先端部でこれに係止部(3)を設けた金具(4)を嵌入固着する。この金具(4)の中心に螺子を設けて長い芯杆(5)を突出状に螺入できるようになつてゐる。(6)はゴム材の中空クリップで中空部(7)内下方(図面)部に係止突部(8)が設けられており、これとハンドル(2)と一体の金具(4)の係止部(3)が衝合するようになつてゐる。(9)はクリップ(6)の中空部(7)内に嵌入するスプリング或はスポンジなどの防振体で、第1図及び第2図はスプリングを防振体(9)とした場合を示し、これは芯杆(5)部にクリップ(6)の中空部(7)を嵌めその中空部(7)にスプリング(9)を落し込み中心の芯杆(5)を螺入すればスプリング(9)下方がクリップ(6)の係止突部(8)を押圧してハンドル(2)と一体の金具(4)の係止部(3)に衝合圧接する。このスプリング(9)の比縮度は刈払作業中クリップ(6)を持つてゐる時、第2図のようにクリップ(6)が移動しスプリング(9)を介してハンドル(2)が中吊の状態となる



ように芯杆(5)の螺入を調節することが理想的である。尙図中(4)は金具(4)に固着したガイドパイプ、(11)はスプリング(9)の座金である。

また、第3図及び第4図は防振体(9)をスプリングのかわりにスポンジにした場合を示したものでこれもグリップ(6)を持って作業をする時、グリップ(6)が移動しスポンジ(9)を介してハンドル(2)が中吊状となるように芯杆(5)を螺入調節する。

このような装置を有するハンドル(2)を第5図のように刈払機の主杆に装着して刈払作業をするとエンジンや主杆及び刈取部からの振動はハンドル(2)から作業者が握っているグリップ(6)に伝わるのであるが、そのグリップ(6)はグリップの中空部(7)においてハンドル端部(1)中心の芯杆(5)がスプリング或はスポンジなどの防振体(9)が圧縮されてハンドル(2)を中吊した状態となるので、ハンドル(2)からの振動はスプリング或はスポンジに吸収消滅されて、グリップ(6)を握った手に殆んど振動が伝わることがないため、作業者は振動による疲労が全くなくなり快適に刈払作業をすることができるも

ので、而もハンドル(2)のグリップ(6)内に防振装置を納めてあつてこれは農家の要望に応え得たものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本案の縦断面図で防振体をスプリングにした場合を示し、第3図及び第4図は防振体をスポンジにした縦断面図、第5図は使用状態を示す斜視図である。

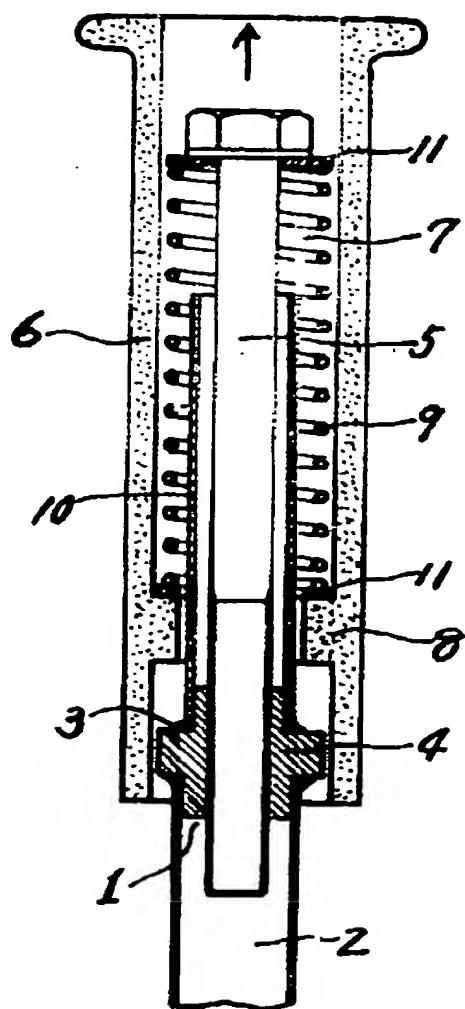
(1) . . . . 先端部	(6) . . . . グリップ
(2) . . . . ハンドル	(7) . . . . 中空部
(3) . . . . 係止部	(8) . . . . 係止突部
(4) . . . . 金具	(9) . . . . 防振体
(5) . . . . 芯材	

実用新案登録出願人の名稱

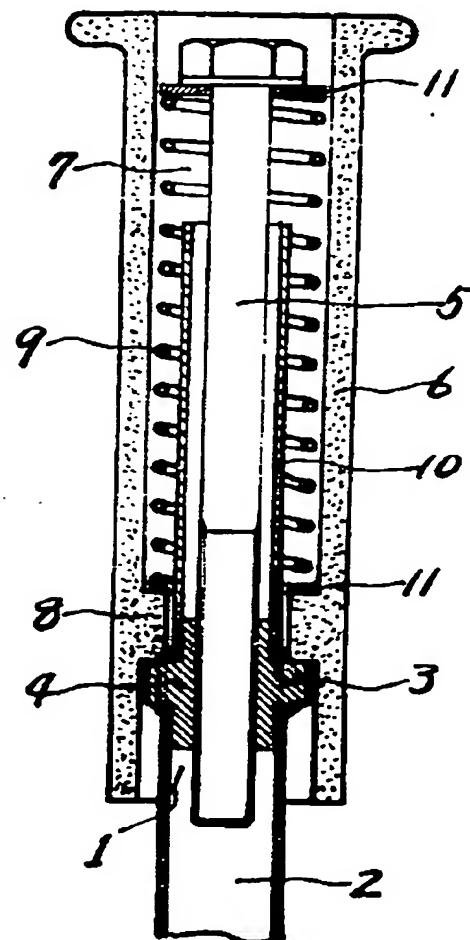
山本商事株式会社

代表者 山本秋太郎

第2圖



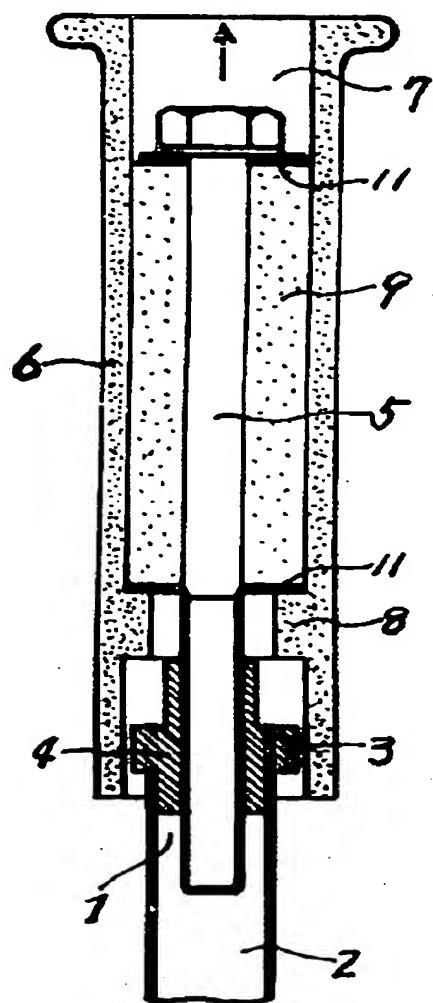
第1圖



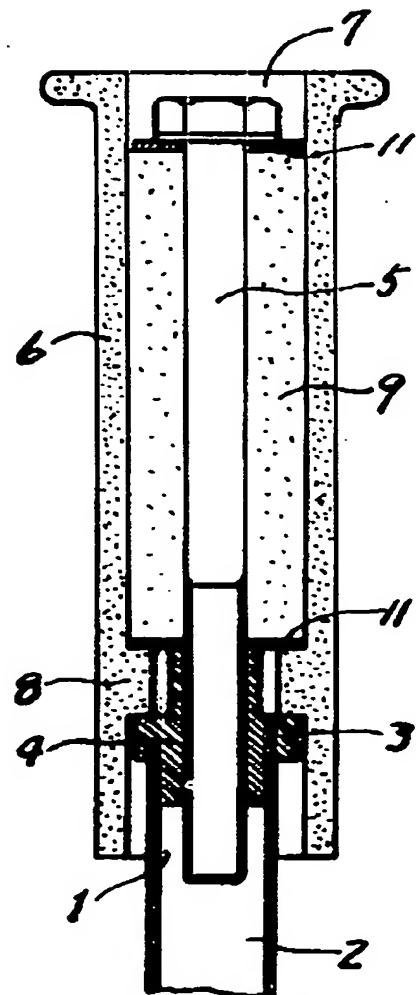
実用新案登録出願人の名前  
山本商事株式会社  
代表者 山本秋太郎

114445 3

第4圖



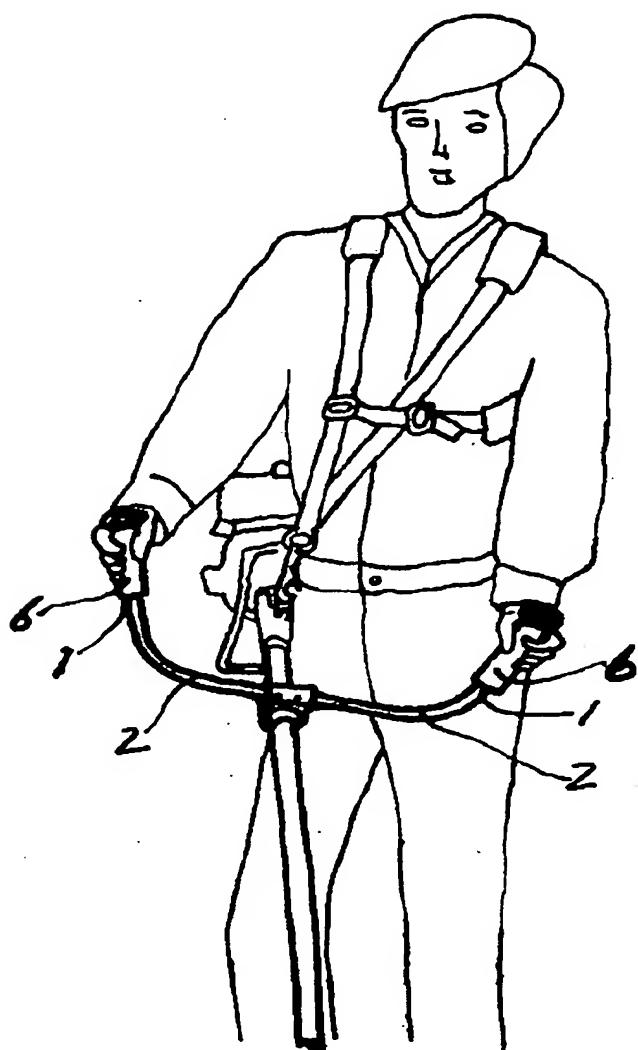
第3圖



実用新案登録出願人の名前  
山本商事株式会社  
代表者 山本秋太郎

144446 2/3

第5圖



实用新素習録出稿人の名前  
山本商事株式会社  
代表者 山本謙次郎

144446 3/3